

新塾長紹介

2021年5月28日付で新塾長・常任理事が就任しました。任期は4年間です。



塾長

伊藤 公平

1965年生まれ。1989年慶應義塾大学理工学部卒業。1994年米・カリフォルニア大学パークレー校Ph.D.（博士）課程修了。慶應義塾大学理工学部助手、助教授を経て、2007年同教授に就任。2017年4月～2019年3月理工学部長・大学院理工学研究科委員長。2021年慶應義塾長。JST さきがけ研究領域「量子の状態制御と機能化」領域総括、文科省 Q-LEAP 量子コンピュータ分野、プログラムディレクタなども務める。専門は固体物理、量子コンピュータ、電子材料、ナノテクノロジー、半導体同位体工学。Ph.D. (Engineering)。

一人ひとりの慶應義塾の目的

「慶應義塾は単に一所の学塾として自から甘んずるを得ず」から始まる慶應義塾の目的。これほどに強烈なつかみはなかなかありません。思わず「一所の学塾でなければなんだろう？」と読むのを止めて、自分なりの理想を頭に巡らせてしまえます。この目的が「全社会の先導者たらんことを欲するものなり」で結ばれることを知っていると、ますます自分なりの中略部分の文案を作ってみたくなるのです。実際の「其目的」は、義塾サイトにある福澤先生の言葉どおりなのですが、福澤先生のつかみは、実は其目的が、一人ひとりによって異なり、また同じ人にとっても、自分や仲間や義塾や社会の状況によって変わり得るものであり、要

は独立自尊でダイナミックに考えなさいと語りかけているものである気がしてなりません。大切なことは一人ひとりが、自分に、仲間に、義塾に、社会に希望を抱くことができ、互いに助け合いながら前向きに日々の生活を送り、学問や仕事に熱心に取り組んでいける環境があることです。そこで初めて「全社会の先導者」としての目的意識が持てるようになるのだと思います。これからの4年間、私は皆さんと一緒に一人ひとりが前向きに取り組める環境づくりに全力を尽くしたいと思います。

塾である以上、最も大切なのは塾生のための環境です。塾生が慶應義塾において生涯の友に出会い、慶應義塾の日々

によって人生の好循環がスタートできる環境を整えたい。コロナ禍という制約の中で、塾生たちに「慶應義塾を選んで本当によかった」と前向きに感じてもらうことは容易ではありませんが、全社会の先導者を欲するからには、その環境づくりに努めます。

長期的な視点も大切です。今の塾生たちが活躍する10年、20年、30年、40年、50年後の社会を想像し、新たな社会を創造するための環境を整える必要があります。学術文化の発展に加えて、医療・食糧・環境・安全保障といった様々な分野の専門家と共に、世界と密につながりながら全社会の発展に貢献しなければなりません。従来の大企業に加えて、これらの社会を創る新進気鋭の企業や社会活動組織との協調も深めていきます。

私たち一人ひとりが自分にとっての慶應義塾の目的が実感できれば、良いことも、悪いことも、想定外のことも、皆で議論し豊かに想像したうえで、一歩も二歩も世間の先を行く義塾と社会を創っていけると 생각합니다。全社会の先導者としての理想を追求しましょう。



やまうち けいた
山内 慶太

一貫教育校（主管）、国際（共管）、
体育会、教育（共管）

1966年生まれ。1991年慶應義塾大学医学部卒業。1993年慶應義塾大学医学部助手、2001年同看護医療学部助教授、2005年同教授・大学院健康マネジメント研究科教授。2008年横浜初等部の開設準備室長。2013年横浜初等部長。2021年慶應義塾常任理事。専門は医療政策・管理学、精神医学、慶應義塾史。博士（医学）。



いけだ ゆきひろ
池田 幸弘

人事・労務、国際（共管）、情報基盤（IT）（共管）、
教育（共管）、病院経営改革（共管）、
協生環境推進（共管）

1959年生まれ。1982年慶應義塾大学経済学部卒業、1984年同大学院経済学研究科修士課程修了、1989年同博士課程単位取得退学。1989年慶應義塾大学経済学部助手、助教授を経て2004年同教授。2011年通信教育部長、2017年経済学部長。2021年慶應義塾常任理事。専門は経済学説・経済思想。経済学博士（ホーエンハイム大学Dr.oec）。

※2021年10月1日就任



きたがわ ゆうこう
北川 雄光

病院、病院経営改革（主管）、塾員（主管）、
財務（共管）、募金（共管）、教育（共管）、
学生（共管）、情報基盤（IT）（共管）、
信濃町キャンパス、芝共立キャンパス、
湘南藤沢キャンパス（共管）

1960年生まれ。1986年慶應義塾大学医学部卒業。カナダ・ブリティッシュコロンビア大学ポストドクトラルフェローなどを経て、1997年慶應義塾大学医学部助手。2005年同専任講師、2007年同教授（外科学）。2009年慶應義塾大学病院腫瘍センター長、2011年副病院長、2017年病院長。2021年慶應義塾常任理事。専門は消化器外科学。医学博士。



あまがい まさゆき
天谷 雅行

研究（主管）、教育（共管）、SDGs（共管）、
国際（共管）、病院経営改革（共管）、
情報基盤（IT）（共管）

1960年生まれ。1985年慶應義塾大学医学部卒業、1989年同大学院医学研究科博士課程単位取得退学。米国国立衛生研究所（NCI、NIH）博士研究員、愛媛大学助手などを経て、1996年慶應義塾大学医学部専任講師、2005年同教授（皮膚科学）。2007年慶應義塾大学病院副病院長。2013年医学部長補佐、2017年医学部長。2021年慶應義塾常任理事。専門は皮膚科学。医学博士。

※2021年8月1日就任



まつら よしみつ
松浦 良充

教育（主管）、入試、研究（共管）、
一貫教育校（共管）、情報基盤（IT）（共管）

1958年生まれ。1982年同志社大学文学部文化学科教育学専攻卒業。1984年国際基督教大学大学院教育学研究科博士前期課程修了、1987年同博士後期課程在学要件満了後退学。1988年明治学院大学専任講師、同教授、学長室長などを経て2002年、慶應義塾大学文学部教授。2011年文学部長補佐、2015年文学部長。2021年慶應義塾常任理事。専門は教育学、比較大学史・大学論。

※2021年8月1日就任



いわたに じゅうろう
岩谷 十郎

総務（主管）、法務、広報（主管）、点検・評価、
企画、IR、個人情報保護、危機管理（共管）、
学生（共管）、教育（共管）、塾員（共管）、
募金（共管）、三田キャンパス

1961年生まれ。1984年慶應義塾大学法学部法律学科卒業、1986年同大学院法学研究科公法学専攻修士課程修了、1989年同博士課程単位取得退学。1989年慶應義塾大学法学部専任講師、助教授を経て2001年同教授。2012年福澤研究センター所長、2015年法学部長。2021年慶應義塾常任理事。専門は日本法制史。

※2021年8月1日就任

TOPIC

伊藤塾長は、4月26日に開催された慶應義塾評議員会において選任されました。同日に行われた記者会見で伊藤塾長は、独立自尊、すなわち、慶應義塾の理想を追求することで、世界の発展とより良い社会の形成に寄与することを目指していきたいと述べました。

任期は、2021年5月28日から2025年5月27日までの4年間となります。



会見に臨む伊藤新塾長（左）と長谷山前塾長（右）



記者からの質問に回答する伊藤新塾長



就任翌日の伊藤新塾長（東京六大学野球2021春季リーグ戦早慶戦にて）



おくだ あきよ
奥田 暁代

学生（主管）、教育（共管）、協生環境推進（主管）、国際（共管）、SDGs（共管）、危機管理（共管）、日吉キャンパス

1966年生まれ。1990年慶應義塾大学文学部卒業、1992年同大学院文学研究科修士課程修了。1993年ノースカロライナ大学チャペル・ヒル校英文科大学院修士課程修了、1995年同博士課程修了。1997年慶應義塾大学法学部専任講師、2000年同助教授、2007年同教授。2015年法学部長補佐、2017年法学部日吉主任。2020年協生環境推進室ダイバーシティ推進事業委員会委員長。2021年慶應義塾常任理事。専門は英米・英語圏文学。ノースカロライナ大学チャペル・ヒル校博士号（Ph.D. in English）。

※2021年8月1日就任



やまぎし こうたろう
山岸 広太郎

財務（主管）、募金（主管）、塾員（共管）、教育（共管）、病院経営改革（共管）、情報基盤（IT）（共管）、起業家教育・支援

1976年生まれ。1999年慶應義塾大学経済学部卒業。株式会社日経BP、シーネットネットワークスジャパン株式会社を経て、2004年グリー株式会社取締役副社長。2014年同取締役副会長、2015年同取締役（非常勤）。2015年株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ代表取締役社長。2021年慶應義塾常任理事。



おかだ えいじ
岡田 英史

施設・管理、社会・地域連携、調達、SDGs（主管）、総務（共管）、危機管理（主管）、教育（共管）、研究（共管）、塾員（共管）、情報基盤（IT）（共管）、協生環境推進（共管）、矢上キャンパス

1963年生まれ。1986年慶應義塾大学理工学部卒業、1988年同大学院理工学研究科修士課程修了、1990年同博士課程修了。日本学術振興会特別研究員を経て1991年慶應義塾大学理工学部助手。1993年専任講師、助教授を経て2006年同教授。2019年理工学部長・大学院理工学研究科委員長。2021年慶應義塾常任理事。専門は生体医用光工学、光・画像計測工学。工学博士。

※2021年8月1日就任



つちや もとひろ
土屋 大洋

国際（主管）、情報基盤（IT）（主管）、教育（共管）、一貫教育校（共管）、広報（共管）、危機管理（共管）、塾員（共管）、SDGs（共管）、湘南藤沢キャンパス（主管）

1970年生まれ。1994年慶應義塾大学法学部政治学科卒業、1996年同大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了、1999年同大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（GLOCOM）主任研究員を経て、2004年慶應義塾大学総合政策学部助教授（有期）。同大学院政策・メディア研究科准教授などをを経て2011年政策・メディア研究科教授。2019年総合政策学部長。2021年慶應義塾常任理事。専門は国際関係論。博士（政策・メディア）。

※2021年8月1日就任